

## 第2期 北海道創生総合戦略推進状況（令和2年度～令和6年度）

### 数値目標・KPI

※ 令和6年10月時点の推進状況

数値目標 8本

KPI 225本

数値目標・KPI  
進捗状況

- ①: 現時点で目標を達成している（進捗率100%以上）
- ②: 現時点で進捗率が<sup>※</sup>90%以上100%未満
- ③: 現時点で進捗率が<sup>※</sup>80%以上90%未満
- ④: 現時点で進捗率が<sup>※</sup>80%未満
- ⑤: 現時点で算定不可

# 第2期 北海道創生総合戦略【数値目標・KPI】の進捗状況（R2～R6）

## 1 数値目標（8本）の進捗状況

- ①: 現時点で目標を達成している(進捗率100%以上)
- ②: 現時点で進捗率が90%以上100%未満
- ③: 現時点で進捗率が80%以上90%未満
- ④: 現時点で進捗率が80%未満
- ⑤: 現時点で算定不可

数値目標 進捗率	① 【100%以上】	② 【90%以上100%未満】	③ 【80%以上90%未満】	④ 【80%未満】	⑤ 【現時点で算定不可】	評価
	4 (50.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	-	1 (12.5%)	

数値目標	基準値	目標値	実績値	推移	進捗	要因分析
合計特殊出生率	1.27 (H30)	全国水準 (R6)	道 1.06 全国 1.20 (R5)		③ (88.3%)	進捗としては③となっているが、依然として全国水準との差は埋まっておらず、全国でも低い水準であり、合計特殊出生率の低下には、経済的な不安定さや、仕事と子育ての両立の難しさなど、個々人の結婚や出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられる。
就業率	56.7% (R1)	各年において前年よりも上昇 (R2-R6)	57.6% (R5)		① (102.1%)	雇用の受け皿づくりの取組などの展開により、男性、女性ともに就業率が上昇し、目標値に達したと考えられる。なお、依然として道の就業率は全国平均よりも低い状況が続いている。
「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	75.4% (R1)	増加 (R6)	74.3% (R6)		② (98.5%)	ほぼ横ばいが続いているが、目標達成には至っていないところ。当該目標の達成に向けては、地域において必要な住民サービス機能の維持・確保、そこに住み続けたいと思える環境づくりに向けた各般の施策に粘り強く取り組む必要がある。

数値目標	基準値	目標値	実績値	推移	進捗	要因分析																																												
道産食品輸出額	1,014億円 (H29)	1,500億円 以上 (R6)	1,768億円 (R4)	<p>(億円)</p> <p>■道外港推計値 (H28から公表)</p> <p>■道内港輸出額合計</p> <table border="1"> <caption>道産食品輸出額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>道内港輸出額合計</th> <th>道外港推計値</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>773</td><td>0</td><td>773</td></tr> <tr><td>H28</td><td>702</td><td>1,035</td><td>1,737</td></tr> <tr><td>H29</td><td>674</td><td>1,014</td><td>1,688</td></tr> <tr><td>H30</td><td>774</td><td>1,182</td><td>1,956</td></tr> <tr><td>R1</td><td>664</td><td>1,043</td><td>1,707</td></tr> <tr><td>R2</td><td>578</td><td>927</td><td>1,505</td></tr> <tr><td>R3</td><td>771</td><td>1,298</td><td>2,069</td></tr> <tr><td>R4</td><td>989</td><td>779</td><td>1,768</td></tr> <tr><td>R5</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>R6</td><td>-</td><td>-</td><td>1,500 (目標値)</td></tr> </tbody> </table>	年度	道内港輸出額合計	道外港推計値	合計	H27	773	0	773	H28	702	1,035	1,737	H29	674	1,014	1,688	H30	774	1,182	1,956	R1	664	1,043	1,707	R2	578	927	1,505	R3	771	1,298	2,069	R4	989	779	1,768	R5	-	-	-	R6	-	-	1,500 (目標値)	① (117.9%)	商品開発、人材育成や施設整備など、輸出に取り組む事業者が国際情勢等の変化に適切に対応できるよう支援したことにより、中国、米国、EU向けのホテルが好調に推移し、輸出額が過去最高を更新した。
年度	道内港輸出額合計	道外港推計値	合計																																															
H27	773	0	773																																															
H28	702	1,035	1,737																																															
H29	674	1,014	1,688																																															
H30	774	1,182	1,956																																															
R1	664	1,043	1,707																																															
R2	578	927	1,505																																															
R3	771	1,298	2,069																																															
R4	989	779	1,768																																															
R5	-	-	-																																															
R6	-	-	1,500 (目標値)																																															
外国人観光客	312万人 (H30)	— ※コロナの影響により設定が困難であることから、設定可能となり次第設定	234万人 (R5)	<p>(万人)</p> <table border="1"> <caption>外国人観光客 (万人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>外国人観光客</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>208</td></tr> <tr><td>H28</td><td>230</td></tr> <tr><td>H29</td><td>279</td></tr> <tr><td>H30</td><td>312</td></tr> <tr><td>R1</td><td>244</td></tr> <tr><td>R2</td><td>-</td></tr> <tr><td>R3</td><td>-</td></tr> <tr><td>R4</td><td>69</td></tr> <tr><td>R5</td><td>234</td></tr> <tr><td>R6</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	年度	外国人観光客	H27	208	H28	230	H29	279	H30	312	R1	244	R2	-	R3	-	R4	69	R5	234	R6	-	⑤ (-%)	新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類移行し、水際対策が終了したことや円安の影響により、順調に回復を見せ、コロナ禍前の約9割まで回復した。																						
年度	外国人観光客																																																	
H27	208																																																	
H28	230																																																	
H29	279																																																	
H30	312																																																	
R1	244																																																	
R2	-																																																	
R3	-																																																	
R4	69																																																	
R5	234																																																	
R6	-																																																	
道民所得	2,710千円 (H28)	10%上昇 (R6)	2,811千円 (R3)	<p>(千円)</p> <p>※基礎資料の改定などに合わせて、毎年、過去に遡って改定しているため、基準値の数値も設定時と異なっている</p> <table border="1"> <caption>道民所得 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>道民所得</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>2,719</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,710</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,790</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2,802</td></tr> <tr><td>R1</td><td>2,851</td></tr> <tr><td>R2</td><td>2,732</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2,811</td></tr> <tr><td>R4</td><td>-</td></tr> <tr><td>R5</td><td>-</td></tr> <tr><td>R6</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	年度	道民所得	H27	2,719	H28	2,710	H29	2,790	H30	2,802	R1	2,851	R2	2,732	R3	2,811	R4	-	R5	-	R6	-	② (94.3%)	令和3年度は、令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、「卸売・小売業」などが前年度を上回ったことにより、総生産が増加した。																						
年度	道民所得																																																	
H27	2,719																																																	
H28	2,710																																																	
H29	2,790																																																	
H30	2,802																																																	
R1	2,851																																																	
R2	2,732																																																	
R3	2,811																																																	
R4	-																																																	
R5	-																																																	
R6	-																																																	
本道からの転出と本道への転入の均	▲3,715人 (H30)	0人 (R5)	4,608人 (R5)	<p>(人)</p> <table border="1"> <caption>本道からの転出と本道への転入の均 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>転入超過/転出超過</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>6,334</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,724</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,890</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,715</td></tr> <tr><td>R1</td><td>2,331</td></tr> <tr><td>R2</td><td>3,600</td></tr> <tr><td>R3</td><td>4,819</td></tr> <tr><td>R4</td><td>4,021</td></tr> <tr><td>R5</td><td>4,608</td></tr> <tr><td>R6</td><td>0 (目標値)</td></tr> </tbody> </table>	年度	転入超過/転出超過	H27	6,334	H28	3,724	H29	2,890	H30	3,715	R1	2,331	R2	3,600	R3	4,819	R4	4,021	R5	4,608	R6	0 (目標値)	① (100.0%)	令和4年以降、コロナ禍の入国制限が緩和されたことにより外国人が大幅に増加し、日本人についてもコロナ前の令和元年以前に比べれば減少幅は抑制されていることから、令和5年の総計では4,608人の転入超過となり目標値を達成した。																						
年度	転入超過/転出超過																																																	
H27	6,334																																																	
H28	3,724																																																	
H29	2,890																																																	
H30	3,715																																																	
R1	2,331																																																	
R2	3,600																																																	
R3	4,819																																																	
R4	4,021																																																	
R5	4,608																																																	
R6	0 (目標値)																																																	
広域連携前進プランに基づく広域連携取組数	— (新規)	50件 (R6)	63件 (R5)	<p>(地域数)</p> <table border="1"> <caption>広域連携取組数 (地域数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>広域連携取組数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>43</td></tr> <tr><td>R3</td><td>45</td></tr> <tr><td>R4</td><td>62</td></tr> <tr><td>R5</td><td>63</td></tr> <tr><td>R6</td><td>50 (目標値)</td></tr> </tbody> </table>	年度	広域連携取組数	R2	43	R3	45	R4	62	R5	63	R6	50 (目標値)	① (126.0%)	地域において、広域連携前進プランに掲載した取組が着実に推進されており、令和4年度に目標値を達成したところ。なお、取組数はプランの実施主体である地域の実績を表す指標であり、道は取組を促進する形で関与。																																
年度	広域連携取組数																																																	
R2	43																																																	
R3	45																																																	
R4	62																																																	
R5	63																																																	
R6	50 (目標値)																																																	

# 第2期 北海道創生総合戦略【数値目標・KPI】の進捗状況（R2～R6）

## 2 基本戦略・KPI（225本<sup>※1</sup>）の進捗状況

- ①: 現時点で目標を達成している(進捗率100%以上)    ④: 現時点で進捗率が80%未満  
 ②: 現時点で進捗率が90%以上100%未満    ⑤: 現時点で算定不可  
 ③: 現時点で進捗率が80%以上90%未満

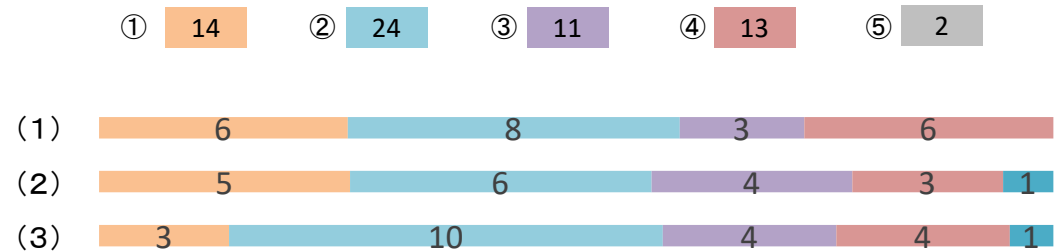
KPI進捗率	① 【100%以上】	② 【90%以上100%未満】	③ 【80%以上90%未満】	④ 【80%未満】	⑤ 【現時点で算定不可】	評価
1 一人ひとりの希望がかない、誰もが活躍できる社会	14 (21.9%)	24 (37.5%)	11 (17.2%)	13 (20.3%)	2 (3.1%)	全体としては「現時点で目標を達成している」、「現時点で進捗率90%以上100%未満」の割合がほぼ半数となっている一方で、「現時点で80%未満」が約3割となっており、引き続き目標達成に向けて取り組む必要のある大項目も見られるところ。  ※R6年度までの戦略推進期間における現時点の進捗状況
2 人口減少下においても、幸せに暮らし続けることのできる社会	18 (39.1%)	11 (23.9%)	7 (15.2%)	9 (19.6%)	1 (2.2%)	
3 北海道の優位性・独自性を活かして経済・産業が活性化し、いきいきと働ける社会	23 (28.8%)	16 (20.0%)	13 (16.3%)	26 (32.5%)	2 (2.5%)	
4 北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会	11 (39.3%)	2 (7.1%)	7 (25.0%)	8 (28.6%)	-	
5 地域創生を支える多様な連携	3 (42.9%)	1 (14.3%)	-	3 (42.9%)	-	
計	69 (30.7%)	54 (24.0%)	38 (16.9%)	59 (26.2%)	5 (2.2%)	

※R6年度までの戦略推進期間における現時点の進捗状況

※1異なる施策に設定されている同一のKPIについてもそれぞれ個別にカウント

### 1 一人ひとりの希望がかない、誰もが活躍できる社会

- (1) 安心して生み育てられる環境の整備
- (2) 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
- (3) 若者、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の活躍



### 評価・分析

全体としては、「現時点で目標を達成している」、「現時点で進捗率が90%以上100%未満」の割合が高いが、基本戦略の次の項目で「現時点で80%未満」となっているKPIが散見される。

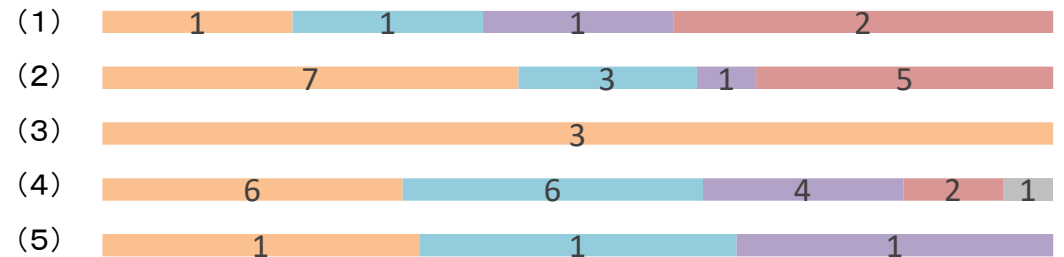
- (1) 安心して産み育てられる環境の整備 ■結婚を望む方への支援や社会気運の醸成、■子育てなどを地域で支え合う仕組みづくり
- (2) 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実 ■地域の将来を支える人材育成のための高校の魅力化

# 第2期 北海道創生総合戦略【数値目標・KPI】の進捗状況（R2～R6）

## 2 人口減少下においても、幸せに暮らし続けることのできる社会

- (1) 将来を見据えたまちづくり
- (2) 健やかに暮らせる医療・福祉の充実
- (3) 地域を支える持続的な交通ネットワークの構築
- (4) 安全・安心な北海道づくり
- (5) 地域の可能性を広げるデジタル化に向けた環境の整備

① 18    ② 11    ③ 7    ④ 9    ⑤ 1



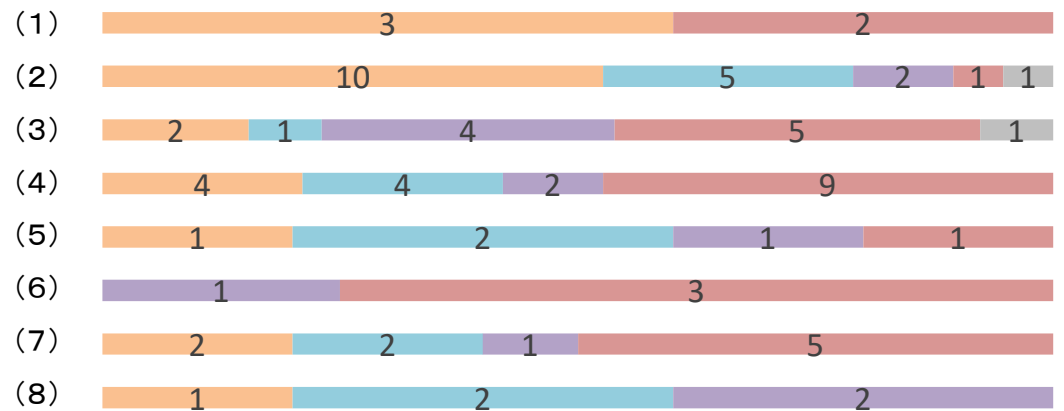
### 評価・分析

全体としては、「現時点で目標を達成している」、「現時点で進捗率が90%以上100%未満」の割合が高いが、基本戦略の次の項目で「現時点で80%未満」が散見される。  
 (2) 健やかに暮らせる医療・福祉の充実 ■ 介護人材の確保・定着と高齢者や障がいのある方々を支える仕組みづくり

## 3 北海道の優位性・独自性を活かして経済・産業が活性化し、いきいきと働ける社会

- (1) 魅力ある食の国内外への展開
- (2) 農林水産業の持続的成長
- (3) 「観光立国北海道」の再構築
- (4) ものづくり産業をはじめ北海道の発展をリードする産業の振興
- (5) 地域経済を支える中小・小規模企業の振興
- (6) 道外・海外からの投資促進
- (7) 産業をけん引する人づくり
- (8) 働き方改革の推進

① 23    ② 16    ③ 13    ④ 26    ⑤ 2



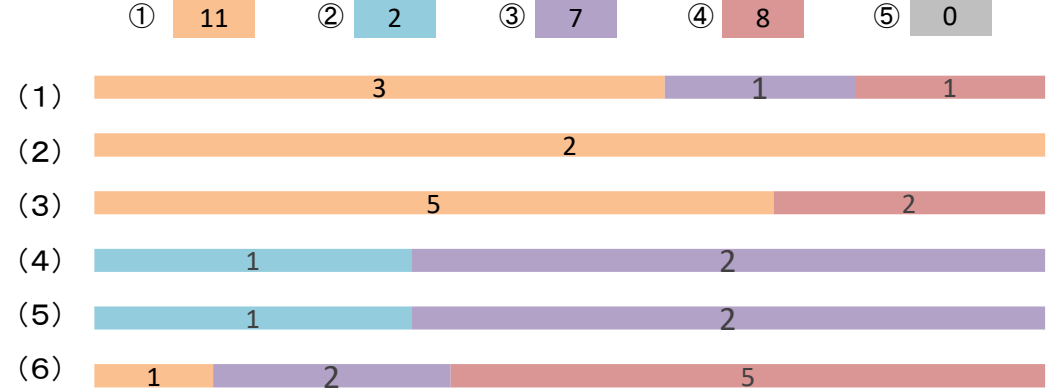
### 評価・分析

新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、観光や海外との商談など大きな影響を受けたことから、基本戦略の次の項目では「現時点で80%未満」の割合が高くなっている。  
 (3) 「観光立国北海道」の再構築 ■ 旅行者比率のリバランス  
 (4) ものづくり産業をはじめ北海道の発展をリードする産業の振興 ■ 健康長寿社会の実現に向けた産業振興、■ 北海道の魅力や強みを活かした海外展開  
 (6) 道外・海外からの投資促進 ■ 海外からの投資促進 ■ 本道の資源や首都圏等との同時被災リスクの低さ、バックアップ機能などの立地優位性を活かした企業誘致の推進、■ 地域と連携した企業誘致活動等の展開  
 一方で、(2) 農林水産業の持続的成長の項目では、農業産出額や沿岸漁業生産量に占める栽培漁業生産量の割合といったKPIが目標値を超えていることから、「現時点で目標を達成している」の割合が高くなっている。

# 第2期 北海道創生総合戦略【数値目標・KPI】の進捗状況（R2～R6）

## 4 北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会

- (1) 移住・定住の促進
- (2) 外国人材の受入拡大と共生
- (3) 関係人口の創出・拡大
- (4) 航空ネットワークや北海道新幹線等を活用した新たな人の流れの創出
- (5) スポーツによる地域の振興
- (6) 北海道独自の歴史や文化の発信

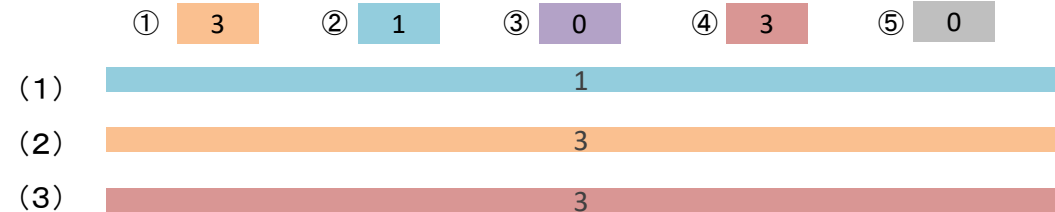


### 評価・分析

全体としては、「現時点で目標を達成している」、「現時点で進捗率が90%以上100%未満」の割合が高いが、コロナ禍の水際対策や行動制限の影響により次の項目では「現時点で進捗率は80%未満」の割合が高くなっている。  
 (6) 北海道独自の歴史や文化の発信 ■ 歴史や文化の発信により地域の魅力向上、■ 地域文化の振興や魅力発信

## 5 地域創生を支える多様な連携

- (1) 自治体間の広域的な連携の促進
- (2) 多様な主体との連携体制の構築
- (3) 人口減少対策に関する札幌市との連携強化



### 評価・分析

多様な主体との連携体制の構築については全てのKPIが「現時点で目標を達成している」となっている一方、コロナ禍の影響により、イベントの中止や縮小などの制限があったことから、札幌市との連携や道内版関係人口の創出に係る次の項目では全てのKPIが「現時点で進捗率は80%未満」となっている。  
 (3) 人口減少対策に関する札幌市との連携強化 ■ 札幌市との連携による人口減少対策共同プログラムの更なる推進、■ 道内版関係人口の創出・拡大